

横手市



社協だより



No. 13

2009.1.1

発行

横手市社会福祉協議会

手をつなぐ
みんなのやさしさ ふくらむ未来



11月26日、増田小学校の4年生（74名）が高齢者や障がい者の体験学習を行いました。児童からは「思うように体が動かなくて大変だった。」「階段や段差を降りる時が少し怖かった。」などの声が聞かれました。この体験が“手をつなぐ みんなのやさしさ ふくらむ未来”の実現に向けた第一歩となるよう願っています。

ご指導いただきました「県車いす連合会県南支部」の皆さん、「市視覚障害者福祉協会」の北嶋和枝さん、ご協力ありがとうございました。

福祉協力員

誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざして

今回は、地域福祉活動の推進役として活躍されている
“福祉協力員”の活動を紹介します



福祉協力員は、地域の福祉をより良くしようという熱意のある方を、各自治会や地区の民生児童委員から推薦していただいております。市内全域に910名の方々が委嘱されています。その役割としては、地区の民生児童委員や福祉に携わる関係者と連携し、地域の福祉問題や課題を把握して、社協や行政などの関係機関に橋渡しをしたり、単身高齢者の安否確認や相談援助、共同募金運動や社協会員募集への協力などの活動をしています。

また、市内15カ所には地域の特色を活かした福祉事業の実施や充実した活動を行うために「福祉協力員会」が設置されています。

横手中央地区敬老会では、毎年、会場案内などを行っています。



横手

各地域での活動

今年度、福祉協力員会の事業として、保育園児と高齢者の交流会を行いました。



平鹿



雄物川

年末に単身高齢者宅への巡回訪問を行っています。

※紙面の都合上、全地域の活動がご紹介できません。他の地域の活動については、今後、発行する社協だよりで紹介いたします。

お知らせ

合併後、市内全域に福祉協力員が設置され、来る3月で3年の任期が満了となります。来年度、新たにご委嘱をすることになりますが、市内各自治会・町内会関係者並びに地区の民生児童委員の皆さまにおかれましては、福祉協力員の推薦方につきまして特段のご理解とご配慮を賜りますようお願いいたします。

関係者への正式な推薦依頼については、後日、各福祉センターを通じてお願いすることになります。



第4回 横手市社会福祉大会

平成20年度

～みんながつくる みんなの福祉を目指して～

今回で4回目を迎える横手市社会福祉大会を、10月28日(火)に秋田ふるさと村ドーム劇場にて開催しました。大会には、市民の皆さまのほか、民生児童委員や福祉協力員等の福祉関係者、福祉団体、ボランティアなど多数の方々にご参加いただきました。



嘉子夫人を伴い講演する高橋勇市氏



「福祉のこころ」と題して意見発表する佐藤飛翔さん

大会では、長年にわたって地域福祉に貢献された方や団体、また他の模範となつて活動されている方に対する表彰が行われました。表彰された個人、団体は次の皆さまです。(敬称略)

《横手市社会福祉協議会会長表彰》

▼佐藤エツ子(横手) ▼向川雅子(横手) ▼鈴木朋子(横手) ▼伊藤昭一(横手) ▼七尾政雄(横手) ▼藤田信子(横手) ▼藤原清司(横手) ▼柴田勝治(十文字) ▼近 洵士(十文字) ▼森岡己之吉(大雄) ▼小原榮子(横手) ▼加賀興一(増田) ▼中村 律(雄物川) ▼佐々木幸一郎(大森) ▼横手市立山内中学校(山内)

《横手市社会福祉協議会会長感謝状》

▼高橋順三郎(横手) ▼伊藤安晴(十文字) ▼菅原美奈子(大雄) ▼大日向理奈(大雄) ▼鈴木典男(大森) ▼雄物川町舞踊愛好会(雄物川) ▼横手市立たいゆう保育園(大雄)

《福祉(しあわせ)の標語表彰》

※受賞者はP7ボランティアリーダーズに掲載しています。

夏休み中に、倒れていたお年寄りを助けた行いにより、社協会長感謝状を授与された大雄中学校2年の菅原美奈子さんと大日向理奈さんにその様子を伺うと…

学校からの帰宅途中に、倒れているおばあさんに気づき、最初は「どうしたらいいんだろう？」と顔を見合わせてしまいました。でも、すぐに手を差し伸べ起こしたところ、おばあさんの知人が通りがかり、車に乗せるまでの間、ずっと寄り添って声をかけ続けました。おばあさんは幸い大事には至らず、2人はとても安心したそうです。

特に「良い事をした」とも思わなかったようで、



(左側)菅原美奈子さん (右側)大日向理奈さん

今回の受賞に少し驚いたと話してくれました。「福祉」や「ボランティア」活動は身構えて行動するのではなく、普段の生活の中での「思いやり」「助け合い」「支え合い」が「福祉の原点」であるということをお二人は再確認させてくれました。

余興で盛り上げた菊地みよ子婦人会長と皆さん



単身高齢者昼食会 10月12日

大森

白山地区福祉協力員会（菊地東一会長）では、八沢木東婦人会の協力により地域の単身高齢者の方を招いての昼食会が開催されました。

当日は、婦人会の皆さんに食事の準備から余興まで奮闘していただき、楽しい時間となりました。

今まで参加したことがなかった方からは「顔見知りの婦人会長さんから声をかけてもらって初めて参加した。とてもおもしろかったので、この次も是非参加したい。」との感謝の言葉があり、婦人会の皆さんからも「また協力したい。」と言っていました。

長年受け継がれているボランティア活動

山内中学校が河川状況調査や、ダム周辺の雑草取り等、環境保全のボランティア活動が認められ、平成20年度横手市社会福祉大会で表彰されました。

生徒が自主的にボランティア活動をしているもので、生徒会長の古谷さんと副会長の木村さんは、「先輩から長年受け継がれている伝統的なボランティア活動が認められ、誇りに思う。これからも後輩へ受け継いでいきたい。」と抱負を語ってくれました。



（左側）副会長 木村久代さん（右側）生徒会長 古谷聖樹さん

こちら地域情報局

地域的话题をお届けします

いろんな世代が集まっての交流会（中の村）



ふれあい交流事業

11月2日（中の村）・16日（下村）

十文字

十文字では、地域のふれあいの場づくりとして「ふれあい交流事業」を行っています。

この事業は、福祉関係者をはじめ自治会や各種団体など、地域のみんなが協力し合って住民同士の交流を深めながら、地域の支え合いや助け合いを進めているものです。11月には中の村、下村の交流事業が行われました。

中の村では今年度3回目の開催であり、子どもから高齢者まで幅広い層が参加し、ゲームや紙芝居のほか昼食会を行いました。また、下村では高齢者を招いての昼食会を開催し、体操やゲームのほか、手作り料理などを堪能しました。



ゲームに夢中の参加者たち（下村）

視覚に障がいを持つ方とボランティアの交流懇談会 11月30日

普段は声の広報（朗読テープ）や点字物のやりとりだけで、お互い話をする機会がないご利用者とボランティアが親睦を深めようと、秋田ふるさと村体験工房を会場にみそタンポなどの手作り体験を通して交流懇談会を行いました。

参加した皆さんは「手がベトベトしたけどうまく作ることができた。」「肉まんが少ししょっぱかったけど、うめがった。」「とご満悦でした。



やっぱり手作りはおいしいね

横手

園児と高齢者のふれあい交流会 10月30日

醍醐保育園で園児と地区の高齢者とのふれあい交流会が行われました。

園児による太鼓演奏の後、おじいちゃん、おばあちゃんたちと協力して作ったできたてホカホカの焼き芋と一緒に食べました。

同日には下鍋倉保育所、11月12日には樽見内保育園、11月21日には浅舞感恩講保育園においても交流会が開催され、参加者も園児たちも心を通わせ合い、思い出深いひとときを過ごしました。

※平成21年1月には吉田保育所での開催も予定しています。

平鹿



ホカホカの焼き芋とおばあちゃん笑顔でおなかいっぱい（醍醐保育園）

なごやかにみそタンポ作りを体験



パトロールの際にお渡しする「見守り新鮮情報」「安心・生活便利カード」



福祉協力員活動の雄物川ご紹介 12月

雄物川地域では今年も民生児童委員、福祉協力員さんによる年末単身高齢者巡回パトロールが実施されます。これは、単身高齢者の状況把握や事故防止のため、各世帯を巡回訪問し「見守り新鮮情報」と「安心・生活便利カード」を配布しながら、声かけをするというものです。「これくるとなんか安心する。」「声かけてもらえてうれしい。」との声が毎年聞かれています。



福祉協力員会長 小西茂さん

We are われら福祉のたまごたち ボランティア Rookies! ルーキーズ

これからの社会を担う子どもたちに、より福祉に関心を持ってもらおうと、市内の小学4年生と中学2年生を対象に「福祉(しあわせ)の標語」の募集を行い、多数の作品が寄せられました。

選ばれた特に優秀な作品9点を、横手市社会福祉大会にて表彰を行いました。

これからを担う子どもたちからのメッセージ



福祉では、このように「人と関わること」が大切なのではないかと思います。普段は自分も友人も「福祉」についてあ

さんあります。私の住む横手地域では、送り盆や「かまくら」など、そのほとんどが町内会に参加するもので、私も幼稚園の頃から参加しています。私の町内では、子どもたちが祭りに参加し、その親は子どもをサポートし、近くのおじさんやおじいさんたちは小船や梵天を製作するなど、三世代が参加する形で続いています。祭りを通じて町内全体の信頼関係が深まり、子どもやお年寄りを見守ることや自然とコミュニケーションができることで、町内のふれあいや結びつきができています。

インタビューでは人との「ふれあい」や「つながり」を大切にしているご家族や学校、地域の中で成長している斐乃さんの様子が伺われました。これからの活躍に期待しています。(お忙しい中、大会当日での意見発表やインタビューにご協力いただきました斐乃さん、そして大久保校長先生をはじめとする学校関係者の皆様に感謝申し上げます。)

—— 最優秀賞 ——
『手をつなぐ みんなのやさしさ ふくらむ未来』
加川 斐乃さん (鳳中・横手)

—— 優秀賞 ——
『いつの日か 役にたつかな ぼくの手も』
佐藤 飛翔さん (福地小・雄物川)
『やさしさを 広げて学ぼう 福祉の心』
築瀬 紗也香さん (横手南中・横手)

—— 優良賞 ——
『心で握手 笑顔で会話 私はあなたの伴走者』
赤津 李奈さん (増田小・増田)
『ちっちゃい手 ぼくが守るよ ささえるよ』
佐藤 直さん (南小学校・雄物川)

『その笑顔 ずっとまもっていきたいね』
柴田 柚穂さん (福地小・雄物川)

『ありがとう みんなが言える 福祉の町』
西野 直輝さん (山内小・山内)

『大切な 人とのつながり 明るい未来』
斎藤 杏菜さん (鳳中・横手)

『氣にかけて それが福祉の 第一歩』
五十嵐 悠哉さん (金沢中・横手)

最優秀賞を受賞された加川斐乃さん(鳳中・横手)は、地域のお祭りがたくさんあります。私の住む横手地域では、送り盆や「かまくら」など、そのほとんどが町内会に参加するもので、私も幼稚園の頃から参加しています。私の町内では、子どもたちが祭りに参加し、その親は子どもをサポートし、近くのおじさんやおじいさんたちは小船や梵天を製作するなど、三世代が参加する形で続いています。祭りを通じて町内全体の信頼関係が深まり、子どもやお年寄りを見守ることや自然とコミュニケーションができることで、町内のふれあいや結びつきができています。

インタビューでは人との「ふれあい」や「つながり」を大切にしているご家族や学校、地域の中で成長している斐乃さんの様子が伺われました。これからの活躍に期待しています。(お忙しい中、大会当日での意見発表やインタビューにご協力いただきました斐乃さん、そして大久保校長先生をはじめとする学校関係者の皆様に感謝申し上げます。)

今号より、最優秀賞作品を表紙に掲載いたします。

西部指定訪問介護事業所

私たちにお任せください!

西部指定訪問介護事業所は、平成20年7月1日に雄物川・大森・大雄地域が統合され、23名のヘルパーが、大雄福祉センターを拠点にご利用者様のご自宅を訪問し、住み慣れた地域での生活がつつがなく送られますように支援させて頂いております。

いつも笑顔で地域の皆さまに接しられるよう日々努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



西部地区家族介護者教室より



- 事業所名 ● 横手市社会福祉協議会 西部指定訪問介護事業所
- 住 所 ● 横手市大雄字大関310番地
- 電 話 ● 52-3311 ●FAX ● 52-3444
- 営業日及び営業時間 ● 通年365日/6:00~22:00

お問い合わせ先

認知症について

日頃から認知症の方に向き合っておられる方も多いと思います。認知症の方はどのように思っているんだろう?

どうしてこんな行動をするのだろう?

ご家庭や地域でちょっとでも参考にしていただければと思います。

「何かあってから」ではなく「何かある前に」主治医等専門家へのご相談をお勧めします。

認知症の方が感じている世界	現れる行動や状態	効果的な対応
「何?どこ?誰?なんで?」 わからない事だらけで不安で緊張している。	うろうろ歩き回る。 いらいらする。呆然とする。	分かる言葉で、ゆっくりと話す。話を合わせる。 真剣に話を聞く態度をとる。
「まわりが早すぎる」 もっとゆっくり話してほしい。もっとゆっくり動いてほしい。	いらいらする。突然怒り出す。	「意識的に」話すことや身のこなしのスピードを落とす。本人の動くスピードに合わせる。
「まわりがつぎつぎと攻撃してくる」 大きな声がこわい。明るくて・広くて落ち着かない。	足がすくんで動けない。 大声を出す。落ち着かない。	本人の視野に入って話す。本人の目を見て話す。落ち着いたトーンの声で話す。
「なんだかからだが不快だ」 眠い・痛い・腹減った。でもどうしたらいいのかわからない。	体調が崩れる。さらに悪くなる。	普段からの観察をする。
「なんだか自分がこわれていく」 できないことばかりで悲しい・くやしい。	大騒ぎする。介護に抵抗する。 身動きできない。ひきこもる。	間違った行動をしても否定しない。本人ができる事を願う。

介護の?
そこが知りたい

かいご通信



平成20年度 赤い羽根共同募金運動から

—— 横手市共同募金会 ——



赤い羽根募金に園児が呼びかけ

共同募金運動が全国一斉にスタートした10月1日、2日の2日間、市内14カ所で街頭募金が行われました。

横手地区では毎年、地区の民生児童委員協議会や婦人会、横手市母子寡婦福祉連合会などのご協力により実施されてきましたが、今年度はさらに、十文字地区の道の駅でも樽見内保育園・醍醐保育園々児（平鹿）、地区の福祉関係者などのご協力により街頭募金が行われました。かわいい年長児たちが買い物客などに協力を呼びかけたり、おそろいのハッピー姿でソーラン太鼓を披露し会場を盛り上げてくれました。

街頭募金実績額 **192,710円** (14カ所合計)



醍醐保育園年長児のソーラン太鼓で会場を盛り上げました

● ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます ●



ありがとうございました
(平成20年9月1日～11月30日受付分)

※広報発行回数が年4回となりますので、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。

【横手福祉センター受付】

- 南ダスキンよねや家庭用マネージャー、ハーティー同 様
- 懐メロ歌の集い・横手大会 実行委員会 様
- 新 田 ア イ 様 (中 里)
- 立正佼成会 横手法輪クラブ 様
- 横手南中学校生徒会 様
- 平 沢 ス ミ 様 (城南町)
- 平鹿総合病院 様

【増田福祉センター受付】

- 田 中 長 助 様 (下タ町)
- 田 中 伊佐夫 様 (亀 田)
- 高 橋 福 一 様 (戸 波)
- 高 橋 幸一郎 様 (上吉野)
- 笹 原 忠 征 様 (関ノ口)

【平鹿福祉センター受付】

- 平成高等学校 家庭クラブ 様

【雄物川福祉センター受付】

- 矢 野 一 郎 様 (新城小出)
- 雄物川オープンゴルフ 様
- 高 田 ト キ 様 (下小路)
- 高 山 誠 一 様 (回 館)
- 佐々木 勇 一 様 (柏 木)
- 秋田ナイルス親睦会 様
- 近 江 チ ェ 様 (末 館)
- 小 野 重 春 様 (今宿中)
- 東海林 賢 一 様 (坂ノ下)
- 雄物川中学校生徒会 様
- 辻 田 貞 一 様 (下川原)

【大森福祉センター受付】

- 佐々木 幸一郎 様 (菅生田)
- 秋田県南部老人福祉総合エリア 様

【十文字福祉センター受付】

- 加 藤 弘 志 様 (栄 町)
- クルンテーブ
- 代表 佐々木 昌 広 様
- 株式会社リーディングカンパニー
- 代表取締役社長 小川 健 吉 様
- 手作りエトセトラ 様
- サロンイーストゴルフ
- 参加者一同 様

- 鈴木 武 文 様 (曙 町)
- 松 田 八重子 様 (植田裏)
- 十文字第二小学校6年生25名 様

【山内福祉センター受付】

- 佐々木 博 様 (中黒沢)
- 高 階 佐 一 様 (甲)
- 藤 田 直 人 様 (相野々)

【大雄福祉センター受付】

- 秋田ふるさと農協 大雄女性部 様
- 奥 山 正 様 (阿気宮丁)
- 鈴 木 専 一 様 (三 村)

【平寿苑受付】

- 社団法人日本動物病院福祉協会 秋田チーム 様
- NPO法人樽見内地域資源保全委員会 理事長 石 山 聞 一 様
- 社会福祉法人育童会 醍醐保育園 様
- 平鹿町コーラス 様

【雄水苑受付】

- ソフトバンク横手駅前運営会社 株式会社 ジェス
- 代表取締役 石 井 光 幸 様
- 最 上 洋 子 様 (造 山)
- 熊 谷 啓 子 様 (横手市鍛冶町)
- 雄物川舞踊愛好会 様
- 雄物川町ハーモニカ同好会 様
- 年金者連盟 横手支部支部長 小 原 精 一 様
- 雄物川中学校生 様
- 社会福祉法人育童会 樽見内保育園 様
- 東海林 賢 一 様 (坂ノ下)

【憩寿園受付】

- 高 橋 ユ キ 様 (古 内)
- 神 原 實 様 (八兵工丁)
- 高 橋 和 一 様 (柳 原)
- 植田小学校6年生15名 様
- こひつじ幼稚園 様
- 福 田 重 美 様 (新古内)
- J Aほのぼの会 様

この「横手市社協だより」は、共同募金の配分金を活用して発行しています。



本年もよろしく願いいたします



横手市社協だより ● 発行 ● 横手市社会福祉協議会 〒013-0022 横手市四日町3番23号
TEL 0182-36-5377 FAX 0182-36-5388
E-mail shakyou5@agata.plala.or.jp